

環境保全施設整備計画の目標等

都道府県名	三重県	個別地域	伊勢志摩国立公園
計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度		

目標
 ○老朽化した自然公園施設の再整備により、自然とのふれあいの場としての機能を確保する。
 ○世界水準のナショナルパークとして、伊勢志摩地域が持つ美しい自然景観等の魅力を、十分に体験できるよう整備を行う。
 ○情報提供を適確に行い、自然公園施設の利用促進を図る。
 ○自然公園施設の個別施設計画を作成し、適切な整備及び維持管理を行うことで施設の長寿命化を図る。

目標設定の根拠

個別地域の現状

伊勢志摩国立公園は、三重県中央部に位置する志摩半島とその周りに広がる国立公園で、昭和21年11月20日に指定されている。伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町の4市町にかけて、およそ6万haの面積を占めている。公園は、伊勢神宮の背後に広がる自然豊かな森林環境を中心とした内陸のエリアと、複雑な地形・地質及び小さな入り江と岬が無数に点在するリアス海岸に代表される海沿いのエリアのおおよそ2つに分けられる。他の国立公園に比べ、私有地の割合が96%と非常に高く、公園内の居住人口も非常に多いため、地域住民の生活、歴史、文化、風習などに深く触れることができるのが特徴である。「国立公園満喫プロジェクト」において、ナショナルパーク化への先導的モデルとして選定を受け、国内外からの注目度も高まっており、利用者も増加している。そのため、既存の自然公園施設の整備要望も多く寄せられている。

課題

- ・自然とのふれあいを促進するためには、安全で快適に利用できる施設の整備を行うとともに、利用者への的確な情報提供を進める必要がある。
- ・自然公園等の利活用を通じて自然への意識向上を図るため、自然環境の保全に配慮した施設整備を進めていく必要がある。
- ・近畿自然歩道は、自然を楽しみながら、景勝地や歴史文化等に触れることができることから、自然とふれあう場として以外にも地域の活性化を担う施設として利用者が安全安心に利用できるよう、歩道等の危険個所の解消を図る必要がある。
- ・自然公園施設について、常に安心安全に利用するため、個別計画を作成し、適時適確な対応を実施する必要がある。

長寿命化対策の整備方針と期待する効果	方針に沿った主要な事業	長寿命化計画名(策定年度又は策定予定年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・景観の向上 ○老朽化等により利用者のニーズに対応できなくなった施設や周囲の自然景観にそぐわない施設等については撤去し、自然景観に配慮した施設に再整備する。 ○施工に際しては、地域の生活や文化を踏まえ、自然景観に配慮した外観やデザイン等とし、構造は木製構造を主とする。 ○長距離自然歩道は自然の景勝地や名所旧跡等を結ぶ山道が多く、老朽化の著しい案内看板や標識等の施設についても改修していく。 	近畿自然歩道整備事業	近畿自然歩道長寿命化計画(平成29年度策定予定) 安乗崎園地長寿命化計画(平成32年度策定予定)
<ul style="list-style-type: none"> ・自然とふれあう場としての機能強化 ○自然とふれあう場として必要な施設の整備を行う。 ○老朽化した施設について、長期的な利用ができるように施設の再整備を行う。 ○公園施設または長距離自然歩道の改修にあたっては、利便性を高めるための付帯施設についても整備する。 	近畿自然歩道整備事業	近畿自然歩道長寿命化計画(平成29年度策定予定)
<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の強化 ○公園内の主要拠点において、アンケート調査などを行い、利用者のニーズの把握に努める。 ○三重県のホームページにおいて、自然に関する情報発信を行うとともに、利用者からの情報の提供を受け、随時更新するなど、情報の共有化を図っている。 ○長距離自然歩道のコース概要等を記したガイドマップにより、主要地点までの距離、時間、名所旧跡やスポット等を写真で掲載、最寄りの交通機関等の表示している。 	近畿自然歩道整備事業	近畿自然歩道長寿命化計画(平成29年度策定予定)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
						基準年度	目標年度
公園利用者の満足度	%	人と自然のふれあいの場の整備状況に関する利用者の満足度	アンケート調査	景観の改善に対応する指標とし、利用者の満足度の向上を目指す。【みえ県民カビジョン】	69.90%	平成27年度	80.00% 平成32年度
公園の利用者数	人/年	伊勢志摩国立公園の利用者数	入込客数推計書を活用して推定数を算出	国立公園における多様な利用の推進を指標とし、県内人口が減少しているなかで、現行の利用者数の増加を目指す。	838万人	平成27年度	850万人 平成32年度
施設改修箇所数	箇所	老朽化等により機能が低下した施設の改修箇所数	現地調査	自然公園施設における快適な利用を促す施設の機能低下箇所を解消することを目指す。	4箇所	平成29年度	0箇所 平成32年度

その他必要な事項